

審議会等の会議の記録

会議の名称	伊勢崎市水質に関する検討委員会 (第3回伊勢崎市水質に関する検討委員会)
開催日時	令和7年5月27日(火) 午後2時00分～午後4時00分
開催場所	伊勢崎市清掃リサイクルセンター21
出席者氏名	(委員7名) 片亀委員、佐藤委員、矢尾委員、宮里委員、今井委員、深町委員、 本田委員 ※欠席者 吹上委員、山崎委員 (事務局5名) 小林環境部長、塩島環境部副部長 小保方課長、興石環境企画係長、斎藤主任 (下水道整備課1名) 関口課長補佐
傍聴人数	なし
会議の議題	講演「伊勢崎市下水道全体計画の見直しについて」 報告「第3次伊勢崎市環境基本計画について」 議題「今後の協議事項について」
会議資料の内容	1. 次第 2. 委員名簿 3. 伊勢崎市下水道全体計画の見直しについて 講演次第 4. 伊勢崎市公共下水道全体計画の見直し(案) 5. 第3次伊勢崎市環境基本計画 本編及び概要版 6. 日本エコシス提供資料一式
会議における議事の経過及び発言の要旨	【第3回伊勢崎市水質に関する検討委員会】 1 開会 2 環境部長あいさつ 3 委員長あいさつ 4 講演「伊勢崎市下水道全体計画の見直しについて」 下水道整備課職員より下水道全体計画の概要について説明。 5 報告 事務局より第3次伊勢崎市環境基本計画を令和7年3月に策定したことを報告。本委員会で提言いただいた内容が計画にどのように反映されたか説明した。 6 議題「今後の協議事項について」 議題に先立ち、深町委員より油脂を石鹼化工法で処理する排水処理方法の効果について話題提供。 ※質問や委員のご意見は以下のとおり。 委 員 石鹼は水に流し、その後バクテリアや水生生物が餌として取り

	<p>込むことができるため、最終的に水生生物や人間への害はなくなる。</p>
委員	<p>グリストラップの中のものとは言わず油脂といい脂肪酸とグリセリンが一緒になったもの。それに水酸化ナトリウムをかき混ぜることによりグリセリンが離れ、脂肪酸と水酸化ナトリウムで脂肪酸ナトリウムという石鹼水ができる。グリセリンは水に溶けやすいためなくなる。その中に洗剤が加わってしまうため、完全な石鹼水はできあがらない。</p>
委員	<p>適切な規模のグリストラップを設置し、維持管理をしっかりと行うということが必要であり、行政からの啓発や管理も行う必要がある。</p>
委員	<p>グリストラップの清掃について取引先のお客様に提案しているが、グリストラップ自動化システムを導入しているお店や県立の公共施設もある。今まで1か月や2か月に一度訪問しての清掃が必要となっていたが、自動化システムはそれが不要で毎日綺麗な状態が維持できる。</p> <p>飲食店ではグリストラップの匂いが出てきたり、汚水があふれ出たり等の不調がでて初めてグリストラップの対応をしないといけないという気づきがある現状。そのため、行政や食品衛生協会等が日々の清掃を啓蒙していくとともに補助金等も検討できるとよい。</p>
委員	<p>グリストラップの清掃だけで十分な事業所もあれば、石鹼化工法を利用したほうが良いところもあると思うが判断基準はあるか。</p>
委員	<p>グリストラップの清掃は一般的にはバキュームで行うが、ショッピングモールや店内型グリストラップだとバキュームが入らない店があり、最近はショッピングモールや店内型が増えている。グリピカロボはポータブルな清掃システムで重さも20キロほどなのでショッピングモール等で活用できると思う。これを自動化したものがグリストラップ自動化システムとなる。自動化システムは常時店内に設置となる。グリピカロボは清掃員が持っていき、その場で油脂を吸引しながらアルカリと反応させて石鹼水にする。</p>
委員	<p>自動化システムはリースという形で月額使用料を設定している。月に一度、作動確認や液体補充が必要となる。</p>
委員	<p>石鹼化工法の効果で鹼化前汚水と鹼化後汚水があるが清掃後の汚水がどれくらいの数値となるのか。またその汚水はそのまま排出となるのか。</p>
委員	<p>ノルマルヘキサン抽出物質含有量は1/10程度になっている。1/10に薄まったからといって排出基準内かということではないが、鹼化しないよりはした方がよいと考えている。排出する汚水はグリストラップ内で固化した油はバキュームや手作業で除去されたあとのもので1/10に薄まった状態で排出となる。</p>
委員	<p>石鹼化後、石鹼水が自然界に及ぼす影響で7日後には90%以上生分解されると記載があるが、1日や2日だとどの程度分解されるか。</p>
委員	<p>日本食品分析センターが28日間でどう生分解が行われるか分析したものであり、最終的なデータのみしかわからない。</p>
委員	<p>20～30年単位の汚れが付いた配管の写真が資料にあるが、掃除で手を加えた効果ではない、アルカリ鹼化水を流したことによってどの程度綺麗になるかは実績等あるか。</p>
委員	<p>現在、透明な配管を使って試すことを検討中。どの程度かはわ</p>

	<p>からないが、今まで配管を何回も詰まらせているラーメン屋で詰まることはなくなったという実績はある。</p> <p>委員 次回第4回検討委員会が7月下旬から8月くらいに開催となる見込みだが、今日の内容を踏まえ、課題等あれば事務局に事前に伝えていただければ、それに関連する資料等も準備ができるのではないかと思う。飲食店のグリストラップ以外に地域の水質改善として検討した方がいい箇所があればそれも共有していただきたい。</p> <p>委員 東京都の下水道管で問題となっていたが、病院やクリニックで行う人工透析の機械を洗った際にアルカリ性や酸性のものを扱うようだが、酢酸を使うところもありその場合だと排水のPHが下がり、コンクリート製の下水管が損傷するケースがある。大きい病院であれば問題ないと思うが、小さい病院だと問題になりかねないので調べた方がいいのではないか。</p> <p>7 閉会</p>
--	---